

第2回小田原文学研究会 講演会

源氏物語ミステリー4連作の著者

森谷 明子講演と



森谷明子氏

サインの会
テーマ「源氏物語の可能性
－〈探偵・紫式部〉の連作ができるまで－」

令和6年

日時 11月25日(月) 午後2時～5時

会場 おだわら市民交流センターUMECO

会費 1,000円

定員 80名 (定数になり次第 締切)



講師紹介

1961年、神奈川県生まれ。神奈川県立小田原高等学校を経て、早稲田大学第一文学部卒業。図書館司書として17年勤務したのち、2003年『千年の黙 異本源氏物語』で第13回鮎川哲也賞を受賞。

著書に、源氏物語を題材にした受賞作を始めとする『白の祝宴 逸文紫式部日記』『望月のあと 覚書源氏物語「若菜」』、近著『源氏供養 草子地宇治十帖』連作のほか、図書館を舞台にした『れんげ野原のまんなかで』『花野に眠る』『星合う夜の失せもの探し』(以上東京創元社)。前回オリンピック時の東京が舞台の『涼子点景 1964』(双葉社)、俳句甲子園がテーマの『春や春』『南風吹く』(光文社)など。

主催 小田原文学研究会



* お問い合わせ・ご連絡は事務局(小泉)

〒250-0874 小田原市鴨宮 384

TEL 090-5409-3071

メールアドレス uketuke@odawara-bungaku.jp

第2回 小田原文学研究会講演会

源氏物語ミステリー4連作の作家

森谷明子講演とサインの会 開催のご案内

令和6年10月吉日

小田原文学研究会 会長 石井 敬士

・ 爽涼の候 皆様にはお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

本年2月発足致しました「小田原文学研究会」には、ご理解とご支援を頂き誠に有り難く厚く御礼申し上げます。第1回講演会「尾崎一雄文学散歩と講演会」に続き第2回講演会を下記により開催致します。今回は、様々なジャンルの創作に絶大な影響を与えてきた、日本文学の金字塔・源氏物語を、推理小説として再構成した作家・森谷明子先生に源氏物語の魅力と今なお広がり続ける豊かな可能性を語っていただきます。

作家・森谷明子さんは秦野市生まれ、県立小田原高校を経て早稲田大学第一文学部を卒業後、図書館司書として十七年間勤務、2003年「千年の黙 異本源氏物語」で、第13回「鮎川哲也賞」を受賞され20年の歳月を掛け4連作を書き上げられました。

この機会に作家・森谷明子の世界をご聴講くださるようご案内申し上げます。

記

日時 令和6年11月25日（月）午後2時～5時

会場 おだわら市民交流センターUMECO会議室1・2

講師 作家・森谷 明子

テーマ「源氏物語の可能性

—＜探偵・紫式部＞の連作のできるまで—

会費 1,000円

定員 80名（満数になり次第締め切ります。）

*当日のプログラム（予定）

・開会挨拶・講師紹介 14:00～

・一部・講演会 14:15～15:40

—休憩—（5分）

・質疑応答 15:45～16:00

・二部・サイン会 16:00～16:40

*サイン会に持参下さる本はお手持ちの著書か、参加申込みハガキで予約された源氏物語4連作のどちらかに限定させていただきます。（予約本は当日配布）

申込み方法・返信ハガキ・メール・TELなどによる

1. 返信ハガキ（案内状に同封する）

2. メールアドレス uketuke@odawara-bungaku.jp

3. TEL・090-5409-3071（小田原文学研究会事務局）

*参加ご希望の方は同封返信用ハガキに必要事項を書き込んで申込み下さい。

尚誠に恐縮ですが85円切手を貼って投函下さい。

*お問い合わせ・ご連絡は事務局（小泉）

250-0874

小田原市 鴨宮384

TEL: 090-5409-3071